

世界に羽ばたく島原半島ジオパーク ⑦

島原半島ジオパーク推進連絡協議会 (☎65-5540)



～第4回 ジオパーク国際ユネスコ会議の様～

4月10日から15日までの6日間、マレーシアにあるランカウイ島において、第4回ジオパーク国際ユネスコ会議が開催されました。この会議では「ジオパークフェア」や基調講演、分科会、そして、ランカウイジオパークの現地ツアーが実施されました。この会議には、世界各国から500人を超える人たちが参加しました。

日本からは、島原半島ジオパークを含む3つの世界ジオパークと今後世界ジオパークの認定を目指す5つの日本ジオパーク（アポイ岳、山陰海岸、室戸、阿蘇、天草御所浦）の関係者が出席し、各地域の見どころや取り組みを発表しました。

世界ジオパークネットワーク加盟記念品の贈呈

この国際会議では、世界ジオパークネットワーク事務局から新たに世界ジオパークネットワークに加盟した12地域に記念品が贈呈されました。この中には島原半島ジオパークが世界ジオパークに認定された後に認定された2つの地域が含まれています。

その結果、世界ジオパークの

数は21カ国66箇所となりました
(平成22年4月現在)。



世界ジオパーク新規加盟地域の代表者の皆さん

次のジオパーク国際ユネスコ会議は島原半島で開催！

ジオパーク国際ユネスコ会議は2年に1度開催され、貴重な地形や地質を活用した教育・観光振興について、世界各国のジオパークでの取り組み事例の共有やジオパークの理念などが議論されています。

次回、平成24年の開催地が「島原半島ジオパーク」に決定しました。2年後には、たくさんのお客様が世界各国からやってきます。

この国際会議が盛り上がるよう島原半島全体で取り組んでいきます。

こぼればなし

ジオパーク国際ユネスコ会議が終了した日（4月15日）、アイスランドの火山が大きな噴火を起こし、航空機を中心に交通機関に世界的な乱れが生じました。ジオパーク国際ユネスコ会議の出席者にもその影響はおよび、ランカウイ島周辺にて数日間足止めされた人もいました。

現在、世界ジオパークネットワークの事業を推進している人物の一人、パトリック・マッキーバー氏もこの噴火によって現地滞在を余儀なくされ、今回の火山噴火による世界的な影響とジオパークとの関わりについてコメントしています。その中で

マッキーバー氏は「ジオパークは、自然保護とその利用だけでなく、自然災害に関する情報・教育の拠点として世の中に示していく必要がある」とコメントしました。

火山都市国際会議島原大会の成果をふまえた島原半島ジオパークの活動とその理念、そしてその重要性は世界ジオパークネットワークの重要人物にもしっかりと届いています。

次回からは新シリーズ「市民誰もがジオガイド」を掲載し、島原半島ジオパークのジオサイトの情報を、毎月お届けいたします。お楽しみに。

島原半島ジオパークの新しいキャラクターに愛称をつけてください！



4月に決定した「島原半島ジオパークオリジナルキャラクター」にふさわしい、親しみやすい愛称を募集しています。

◆応募期限

6月15日(火)まで(当日消印有効)

◆応募方法

事務局に備え付けの応募用紙(ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、郵送、FAX、電子メールまたは持参してください

※詳しくは、下記まで問い合わせてください

【応募・問い合わせ先】

島原半島ジオパーク推進連絡協議会事務局
〒855-0879 島原市平成町1-1

☎65-5540 FAX 65-5542

電子メール geopark@city.shimabara.lg.jp

ホームページアドレス http://www.unzen-geopark.jp/Jp/index_j/index_j.html